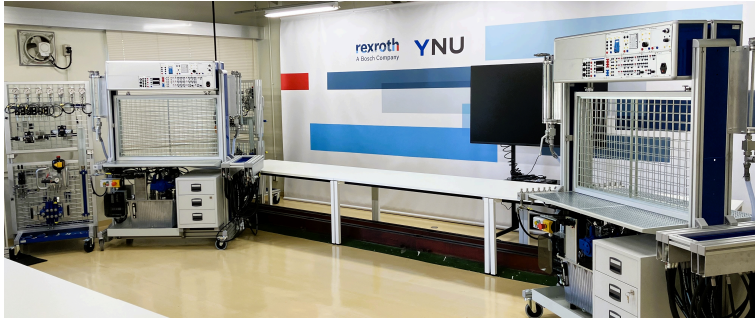


PRESS INFORMATION

横浜国立大学・法政大学に油圧トレーニングキット提供「フルードパワートレーニングラボ」を開設し、産学連携の取り組みを推進

Kenta Tanaka | 2025/11/27 | 横浜市（日本）



画像: 横浜国立大学に開設されたフルードパワートレーニングラボ

ボッシュ・レックスロス株式会社は、横浜国立大学に油圧技術の実習向け主要機器や制御装置を無償提供し、同大学内に「フルードパワートレーニングラボ」を開設しました。さらに、CEOステファン・ハーク博士をはじめとする専門家による最新油圧技術のレクチャーを実施し、日本のものづくり産業を支える人材育成を目指します。

ボッシュ・レックスロス株式会社は横浜国立大学に無償提供したフルードパワー(油圧)に関する実習キットを基盤として、同大学内に「フルードパワートレーニングラボ」を開設しました。油圧機器は幅広い産業を支える重要な技術である一方、近年は高等教育機関における油圧工学の学習機会は減少しています。このような背景から、日本のものづくり産業を支える人材育成への貢献を目指し、大学との産学連携の取り組みを進めています。

今回提供したフルードパワー(油圧)に関する実習キットには、モータ、ポンプ、コントロールバルブ、シリンダなどのフルードパワー分野の主要機器や制御装置が含まれています。横浜国立大学 大学院理工学府の機械工学教育分野を専攻する学生は、「フルードパワートレーニングラボ」で最新の实習キットを活用し、学生自身がフルードパワーシステム*を構築することができます。同ラボでは、機器の挙動の計測や解析を通して、フルードパワーシステムの目的や課題を体験するハンズオン形式のトレーニング実施が可能となります。

さらに本国ドイツのBosch Rexroth AGでCEOを務めるステファン・ハーク博士をはじめ、ボッシュ・レックスロスの従業員が今期4回にわたり最新の油圧技術に関するレクチャーを実施します。授業およびラボでのハンズオン形式のトレーニングにより、学生たちに最新設備を活用した油圧に関する最新の技術動向を学ぶ機会を提供します。

また、ボッシュ・レックスロスは法政大学でも同様の取り組みを実施しています。法政大学 大学院デザイン工学研究科システムデザイン専攻にて、「フルードパワートレーニングラボ」を開設し、2025年後期に4回の授業を実施します。

ボッシュ・レックスロス株式会社は今後も教育機関と連携し、日本のものづくり産業を支える人材育成の一助を目指します。* 油、水、空気などの流体の力で、機械や装置を操作・停止させる駆動方式

PRESS INFORMATION

産学連携の取り組み概要横浜国立大学 大学院理工学府機械・材料・海洋系工学専攻 機械工学* フルードパワートレーニングラボ: 2025年11月開設* レクチャー日程: 11月12日(座学)、12月3日・10日(ハンズオン)、12月17日(ハークCEO特別レクチャー) **法政大学 大学院デザイン工学研究科システムデザイン専攻*** フルードパワートレーニングラボ: 2025年11月開設* レクチャー日程: 10月10日・24日(座学)、11月7日(ハンズオン)、12月16日(ハークCEO特別レクチャー)

基本情報 - ボッシュ レックスロス

ボッシュ レックスロスは、駆動および制御技術のリーディングサプライヤーとして、あらゆる規模の機械およびシステムの効率的、強力かつ安全な動作を保証します。同社は、建設機械アプリケーション、産業用アプリケーションおよびエンジニアリング、ファクトリーオートメーションの市場分野に、グローバルなアプリケーション規模での様々なアプリケーション経験を持ち合わせています。ボッシュ レックスロスは、インテリジェントなコンポーネント、カスタマイズされたシステムソリューション、エンジニアリング、サービスにより、IoTのアプリケーションに必要な環境を構築しています。ボッシュ レックスロスは、油圧システム、エレクトリックドライブおよびコントロール技術、ギアテクノロジー、リニアモーションおよびアセンブリテクノロジー、IoT向けソフトウェアやインターフェイスをお客様に提供しています。80か国以上に拠点を置き、約32,600名の従業員が在籍、2024年度の売上実績は65億ユーロです。

基本情報 - ボッシュ

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024年の従業員数は約41万8,000人(2024年12月31日現在)、売上高は903億ユーロ(約14.8兆円*)を計上しています。ボッシュはモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4つの事業領域を展開しています。事業を通じて、自動化、電動化、デジタル化、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することを目指しています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュGmbHとその子会社490社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠点を約8万7,000人の従業員が研究開発に携わっています。

*2024年の為替平均レート、1ユーロ = 163.8354円で計算

プレスお問い合わせ

プレスお問い合わせまでご連絡ください



Kenta Tanaka

+81456053027

Kenta.Tanaka@boschrexroth.co.jp